てっぺんの葉っぱ

魔法の葉っぱよりも大切なもの

6年　R・Mさん

「時間を巻き戻せたら」と考えたことはないですか。私は何度もあります。友達と言い合いをしてしまったとき、テストでうっかり間違えてしまったとき、あの瞬間に戻ってやり直したいと、いつも心の中で願っていました。

だから、「てっぺんの葉っぱ」の主人公、マチの気持ちが痛いほどよく分かりました。

マチは、仲良しのユリアちゃんに言われるがまま、窓から花びんの水を捨てて、その水が副校長先生にかかってしまいます。先生にひどく叱られ、さらに言い出しっぺのユリアちゃんとも気まずくなってしまう、マチでした。そんな彼女の姿は、いつかの私そのものでした。

私も学校で、友達に「○○しようよ」と誘われ、悪いことだと分かっていながら、断れずに一緒にやってしまったことがあります。あのときの、モヤモヤとした嫌な感覚を、私は今でも忘れることができません。

マチは魔女ババから「てっぺんの葉っぱ」といわれる葉っぱをもらっていました。「てっぺんの葉っぱを持っていると、一回だけ願いがかなう」と言われた事を思い出し、あの掃除の時間に戻ってユリアちゃんに「ダメだよ」と断ることを想像しました。ですが、その「てっぺんの葉っぱ」はただのイチョウの葉っぱで、願いをかなえることなどできなかったのです。

最初、私は「そんな魔法の葉っぱが本当にあればいいのに」と思いました。もし、掃除の時間に戻れたとしたら、やり直して失敗をなかったことにできて、誰も傷つかずにすむからです。

ですが、物語を読んでいくうちに私の考えは変わっていきました。マチは魔法を持つだけでなく自分の頭で「どうすればよかったのか」を一生懸命に考え始めました。相手の気持ちを想像し、自分の言葉で伝える大切さに気づいていくマチの姿を見て、私はハッとしました。

本当に大切なのは時間を巻き戻す魔法ではない。失敗した後で、自分の悪かったところから目をそらさず反省する強さこそ、一番大切なのだと気づかされました。

もしマチが時間を巻き戻して失敗を消してしまったらマチは自分で考えることの大切さに気づけなかったはずです。失敗は苦しいけれど、それを乗りこえようとするとき、人は一歩前に進むことができるのだと思います。

私には、「てっぺんの葉っぱ」はないけれど、「自分の頭で考える」という心の中の魔法を持っていたいです。これから何か、うまくいかないことがあっても、マチのようにしっかり立ち止まって考え、失敗をごまかさずに自分の言葉で伝える勇気を持ちたいです。

秋になり、イチョウの葉を見上げるたび、マチのまっすぐな姿を思い出すはずです。